

自由のために戦うべきは今(習と周の靈言)(2019年9月3日収録)担当:石田昭 2019年9月15日

1 序章:十月一日が中国建国七十周年記念日、九月いっぱい、悲惨な事件予断を許さない。

2 習近平靈言:「お掃除をして、制圧せよ」と指令は出した。逃亡犯条例を撤回したらラム長官は中国本土で処刑される。香港は荒地にしてもOK、本土に金融都市を作る(深圳)

3 香港の処理の仕方を台湾に見せ、蔡英文に恐怖感を与える。2021年までに台湾省にする。

4 米国大統領選 2020 でトランプの落選工作、反トランプ陣営に資金を流し、行動も実施(藍・金・黄工作) 民主党政権にする。トランプは「弱腰だ」と判断。日本の世論誘導も工作

5( 固陋 )“中国型民主主義”を世界に広げる。香港の青年は一網打尽で、ウイグルに連行、殲滅できる。(米国を誤解)留学して見てきた、米国は農業国だ。トランプは土建屋だ。米国は韓国・日本から撤退し、中国をも敵に回し、自滅寸前だ。事大主義者文在寅に影響かも。

6( 慢心 )香港、台湾、日本、ベトナム、フィリピン全部制圧、グアム、ハワイを取る頃、「アメリカは中国と戦って勝てない」と分からせる。経済力はアメリカの倍以上になる。

7 宇宙軍ではアメリカの遅れ明白。5G通信網で勝利した。米大統領選でもかく乱してる。

8( 矛盾 )サイバー攻撃でフェイクニュース、世論操作やってる。vs.「台北講演」に動搖。

9 フビライは娘かもしれない。米国留学し、電腦革命を仕切っている。監視社会体系構築。

10 アグネス・チョウの靈言: 習近平は「大昔の中華思想」で、中国の皇帝に朝貢せよと言ってるだけ。おじさん臭くて、吐きそう。共産党はお掃除が必要。どこかで崩れるね。

11 日本人は意見を持っていない。取材記者の話と記事が違う、中国と似てる。自民党は経済的利益優先で誰も会ってくれない。安倍さん周辺はガードが固い。過去世は天草四郎

12 中国には日米で挾撃するのが一番効果的だが、CNNを使って反米反トランプ報道実施。

13 今の中国は「老人国家」、諫言する人がいない。一国二制度・民主化など嘘約束をする。

14( 落としどころ ) 問題の法案を撤回させる ラム長官の退任、後任は民主的選挙 人権の尊重~信教・報道など自由を保障 できたら香港独立、そこまで行かないと勝てない。

15 英国首相に「大英帝国の一員とみなす」と宣言して欲しい。返還時の宣言に約束違反、協定見直し論。ミュンヘン協定(ズデーテン侵略のナチスを放置した失敗協定)の二の舞である。

16 毛沢東革命、鄧小平政策は偽物と知った。多少は抵抗できる装備など援助が欲しい。日本は中国の発展に寄与し過ぎた。中国南部を独立させ、三国志の呉のような存在にしたい。

17 死は覚悟。邦人保護の名目で自衛隊を送ってほしい、これが本心。英米も追随する。幸福実現党のチラシを「本人談」で中国系メディアが報道、本人が削除要求の波紋。主は「8900万の読者に拡散、中国政府は墓穴を掘ったかも、抑止力が働く」と発言。アグネスのバックに英米日かと抑止?

18 収録後: 本音を明かさない習、弱気を見せたら終わり。「香港革命」は日米英とEUの覚悟がないと、成功しない。強行路線は続く。でも、逆回転が起きれば、「香港を守る」ことが、ウイグル、チベット、内モンゴルの蓋を開けることになり、「神の革命」になる。

19 紛争が、香港と朝鮮半島両方で起きる可能性。日本は素早く判断し行動する必要があるが、マスコミは争点をすり替え、現状維持。HSも動きが遅かった。香港人権・民主主義法案

20 天草四郎の靈言: 香港は「唯物論国家対キリスト教中心の宗教勢力」の戦いである。信長時代(ザビエルはパウロ、自分はイエスの花弁・欠片)に近代化のチャンスがあったが、徳川で遅れた。今の中国は徳川の「五人組」と同じ監視社会。「天下統一と秩序の安定・維持」が目標。O・ワイルド、洪秀全は仲間、キリスト教文明が近代に大きな役割をもった。

21 中国は世界中に拠点を作っていて、逃げ場所がない、大事なのは日本が引き締まること。